

## 4 小国地域 生活交通の利用状況について

### (1) 長岡市地域公共交通総合連携計画における周辺地域内路線（路線バス等）の考え方

#### 【周辺地域内路線の目指す姿】

- 高校生や高齢者など、自動車を運転しない市民の生活交通の確保を主眼におきながら効率的な運行サービスを目指す。

#### 【基本的方向性】

- 平均乗車密度などの指標により一定の利用がある路線については、利用実態に応じて便数の見直しなどの効率化を図りつつ、県の支援制度を活用し、市が適切な支援を行いながら路線バスを維持する。
- 利用が少ない路線や公共交通空白地域では、住民が主体となった運営を検討する。  
なお、住民主体の運営にあたっては、市が適切な支援を行う。

#### 【ネットワーク・サービス水準】

- 利用実態に合わせて、利便性と効率性を考慮しながら運行を見直す。

### (2) 小国地域生活交通の運行目的

- 小国地域では、路線バスの廃止を受けて、スクールバスや医療機関への通院バス等を兼ねた運賃無料の「福祉バス」を小国町当時から運行していた。運賃が無料であることから、他地域との公平性や、長岡市地域公共交通総合連携計画で示している方針（一定の利用がある路線は路線バスを維持、利用が少ない路線は住民主体の運営）との整合が課題となっていた。
- そのため、地域のNPOが主体となり、今年度（平成24年度）4月より、小国地域生活交通の運行が開始された。住民が主体となったコミュニティバス等の運営を行うことで、住民が使いやすい公共交通を効率的かつ効果的に運行する。

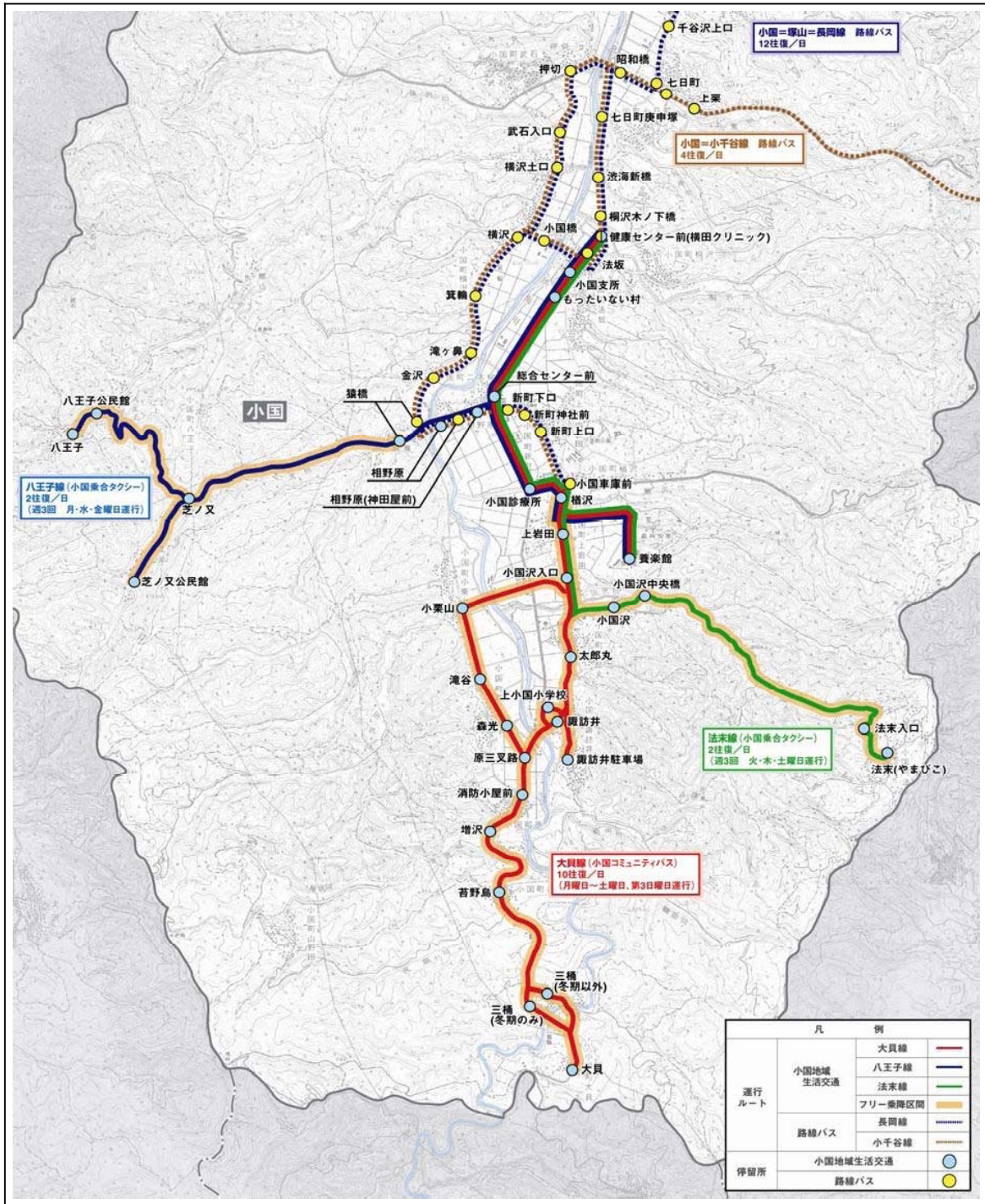
### (3) 運行開始日

平成24年4月1日

### (4) 運行事業者

NPO法人 MTNサポート

(5) 小国地域生活交通の運行経路



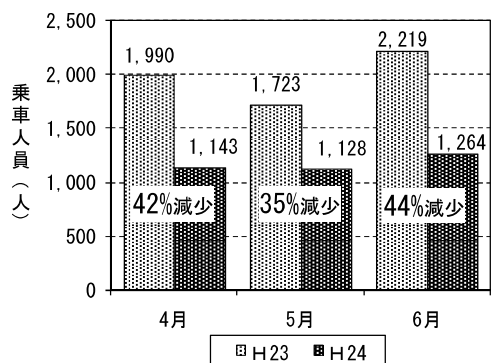
(6) 収支状況当初見込み（平成 24 年度）

収支率（見込）	・収支率：22.3%
運行経費	・17,422（千円／年）
利用者数 運賃収入	<b>【利用者数】</b> ・21,800人 （大貝線 21,000人 八王子線 400人 法末線 400人）  <b>【運賃収入】</b> ・3,888（千円／年）

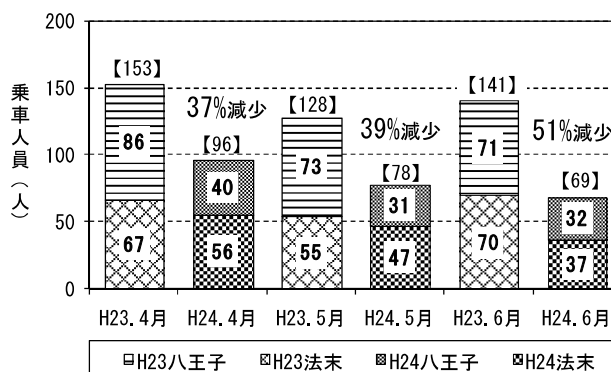
(7) 運行状況

●平成 24 年 4 月～6 月の利用者数は、当初見込み利用者数より 20%以上の減少、前年度比で 30%以上の減少となっている。

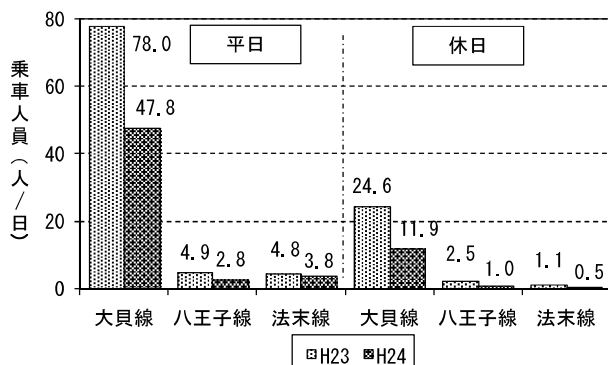
平日：大貝線の乗車人員の月別変化



平日：八王子線・法末線の乗車人員の月別変化



各路線の日平均利用者数の変化



(8) 平成 24 年の取り組み

**【住民への利用促進PR】**

- H24.4からの有償化後、利用者が前年度比3割以上の減少となっているため、今後、地域住民の方に、公共交通が自分たちの生活に大切な交通手段であることを理解し、より身近なものとして利用してもらえるように、広報誌などを通じて利用促進に関するPRを行う。

**【アンケートの実施】**

- 利用状況や改善要望の把握等を行うために、小国地域全世帯を対象にアンケート調査を実施する。